

## 薬剤散布(必須事項)

### 《防除のポイント》

- ・ いずれも湛水状態で、ほ場の発生状況に応じて、ほ場全面に均一に散布、深水部分への局所的な散布、額縁散布など適切な散布を行う。
- ・ 散布後、確実な効果のため、少なくとも3~4に置換は湛水状態(水深3~5cm)を保ち、魚類、甲殻類等に影響が出ないように7日間は落水、かけ流しはしない。
- ・ 移植時のジャンボタニシ(スクミリンゴガイ)の被害がでる前に散布すると効果が高まる。

### 《特徴》

| 種類               | 商品名(例)                           | 効果             | 剤の特性   |
|------------------|----------------------------------|----------------|--|
| メタルアル<br>デヒド粒剤   | スクミノン<br>ジャンボたにしくん<br>メタレックスRG粒剤 | 食害防止<br><br>殺貝 | 誘引性<br>殺貝効果が高い<br>効果持続性を高めた剤型あり<br>食毒による効果                           |
| 磷 酸 第 二<br>鉄 粒 剤 | スクミンベイト3<br>スクミンブルー              | 殺貝             | 誘引性<br>有機JIS規格に適合<br>使用時期・回数に制限なし<br>水に溶けにくい(多雨でも効果が見込める)<br>食毒による効果 |
| チオシクラム<br>粒剤     | スクミハンター                          | 食害防止           | 徐放性による効果持続   |

※農林水産省「スクミリンゴガイ防除対策マニュアル(移植水稻)より一部抜粋